

生徒の実態を踏まえ、指導案を立てましょう！

令和3年6月〇日 〇曜日 第〇時■ (〇〇室)

指導者 ○ ○ ○ ○

- (2) 三つの資質・能力に合わせて、目標を示す。(知識及び技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力、人間性等の順)学習指導要領に沿い、本単元の学習を通して身に付けさせたい力を、生徒の立場で記述する。学びに向かう力、人間性等は「～しようとする」、他の観点は「～することができる」の表現を用いる。※計画案本文参照

■第1次■第1時～第2時■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

第4時（本時）	●	単元の目標を達成するためにどのような構成で学習を進めていくかを現在形で記述する。「次」は学習のまとまりを示す。
第5時	○	例：課題把握・計画→追究→深化・発展→まとめ
第6時～第9時	○	本時を含む「次」は、それぞれの「時」を独立させて書き、
第10時	○	その他の「次」は「～」を使って、「時」をまとめて書く。
学習指導		「次」を設定しない場合は、「時」をその位置に書く。

(1) 目 標

単元の目標のいずれかに沿い、本時の学習を通して身に付けさせたい力を、生徒の立場で記述する。学びに向かう力、人間性等は「～しようとする」、他の観点は「～することができる」の表現をできるだけ用いる。目標が複数の場合、観点の順に書く。

- 教師……○○ 教具的なもの、教材的なものを書く。出典や内容は（ ）に簡潔に書く。
、問 連 教科書等、どの授業でも使うものは書かない。

- 〇年■■社会■■()

関連の深い単元を、学年、教科、単元名の順に書く。()に内容を簡潔に書く。小学校との関連、他教科・他領域との関連も考慮するとよい。

(4) 學習過程

– 6 –

- 1 → 主な学習活動，学習内容
- (1) → 1 を受けた具体的な学習活動，学習内容
 - → (1) をさらに具体化・細分化した学習内容
 - ・ → 予想される生徒の反応，より具体的な学習内容

18	評	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	して いる。 (ワークシート)
----	---	----------------------	-----------------------

- 段階の大まかな区切りだけでなく、学習活動の区切りにも、予定時間を必要に応じて記入する。

各活動，段階における生徒の達成状況を指導者が確認するために設定する。「～している」の表現を用いて，生徒の姿で2,3箇所 に記述する。

30 () には評価するもの，ことを書く。

机間指導等，指導者の活動は書かない。

40	評○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○している。 （話し合い，発表）
----	--

- 4 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。
○ 〇○○○○○○○ 「本時の目標」と

「本時の目標」と「本時の評価規準」は同数にする。
「評」と「本時の評価規準」が同数の場合は、それぞれの記述内容はほぼ同じになる。
※表記は変わってもよい

■■。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○している。()

「本時の目標」を生徒が達成したかどうかを見るために設定する。
「～している」の表現を用いて、本時の目標を達成している生徒の姿を具体的に記述する。
() には、評価できるもの、ことを書く。机間指導等、指導者の活動は書かない。

「理解」など認知的な部分を評価する際、指導者が生徒のどのような姿を捉えて、本時の目標を達成したと判断するのかを考え、できるだけ、目に見えたり、耳に聞こえたりした姿を書く。

例：「理解している」→「自分の言葉で説明している」

(1) 学級の実態

- ○ 本時の学習活動に関わる学級の実態、現職教育の主題に対する実態等を記述する。 ○
- 。

● ○○ 本時の目標を達成するために、本時のどの場面で、どのような方法で指導をするか、
○ 指導者が特に力を入れて指導することを、現在形で記述する。
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

以下に示すもの等について、授業参観者からの意見や指導を踏まえ、授業後に自己評価を記述し、今後に生かす。 ※本時の目標、評価規準、手立て、発問、板書、ワークシート